2003年 FLASH

平成15年

中期連結経営計画スタートの年

2003年の当社グループの動きを写真と年表で振り返ってみました。

開発案件等はプレスリリース日を基準に掲載しています。

2002年

12月

20日 PFI事業『公務員宿舎赤羽住宅(仮称)整備事業』の落札および事業契約の締結

国がPFI方式を採用した第1号案件で、公務員宿舎の整備事業としても第1号案件。

23日 宝山鋼鉄、第四冷延工場起工式

第四冷延工場の主力設備C.A.P.L、1CGLの起工式が行われ、千速社長が出席した。

25日 「鋼橋NET研究会」の設立

当社は、住友金属工業㈱、瀧上工業㈱、日本橋梁㈱と共に、鋼橋生産コストの抜本的低減策の検討を目的として、「鋼橋NET研究会」を設立した。

25日 当社と住友金属㈱、ステンレス事業統合の基本契約書を締結

12月 世の中の主な出来事

- 1日 東北新幹線盛岡―八戸間が開業
- 16日 海上自衛隊イージス護衛艦、インド洋へ
- 19日 韓国新大統領に民主党の盧武鉉氏
- 27日 ロシア・チェチェンで爆破テロ、55人死亡

2003年

01月

1日 ㈱日鉄電磁テクノ発足

当社の電磁鋼板の指定スリットセンター㈱電磁テクノ中部は、平成14年7月に関東電磁鋼センター㈱と経営統合。当社連結子会社となり、社名を「㈱日鉄電磁テクノ」に変更した。

8日 「ステンレス事業統合準備班」の設置

22日 鉄構海洋事業部、シェブロン・オフショア・タイランド社向け海洋プラットフォームおよび海底パイプラインのターンキー受注

23日 北九州エコタウン複合中核施設事業に着手

八幡製鉄所と環境・水ソリューション事業部は、北九州エコエナジー㈱に増資し、平成17年の稼働開始にむけ北九州エコタウン計画における複合中核施設の本格的な事業化に着手した。

24日 第15回福岡県美しいまちづくり賞に㈱新日鉄都市開発『高見三条』が「まちなみ景観の部」優秀賞受賞

同プロジェクトは、八幡製鉄所の社宅跡地を人と自然が生き生きと暮らす「桜と水辺とふれあいの街」をテーマに開発したもの。

1月 世の中の主な出来事

- 10日 北朝鮮、核拡散防止条約(NPT)脱退宣言
- 14日 松井秀喜外野手がニューヨークヤンキースに入団
- 20日 横綱・貴乃花が引退
- 29日 朝青龍、史上初めてモンゴル人で横綱に昇進

02月

3日 豪州バスガスプロジェクト向け電縫ラインパイプを受注

当社は三井物産㈱を通じて、オーストラリアの工事会社クラフト社から、バスガスプロジェクトの天然ガス輸送用海底パイプライン用電縫鋼管(約1万9千トン)を受注した。

6日 (財)省エネルギーセンター主催による省エネルギー全国大会で八幡・名古屋・室蘭が各賞受賞

八幡製鉄所は「九州経済産業局長賞」、名古屋製鉄所は「省エネルギーセンター会長賞」を受賞。またエネルギー管理功績者表彰(室蘭・八幡)、エネルギー管理功労者表彰(室蘭)を受賞した。

28日 サンデン㈱より「Best Quality Award」を受賞

同賞は、サンデン㈱に最も貢献した会社に贈られる賞で、当社は2000年に続き2度目の受賞。

2月　世の中の主な出来事

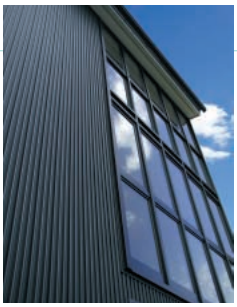
1日　米スペースシャトル空中分解、乗務員7人全員死亡
1日　青森でアジア冬期大会開催、南北朝鮮が合同行進

03月

1日　新日鉄化学㈱、韓国で新工場稼働
新日鉄化学㈱の子会社で、韓国における化学品の製造・販売を手がける錦湖P&B化学㈱が、樹脂の原料となるビスフェノールAの新製造設備を稼働させた。

1日　「コーポレートライフ相談室」開設
当社業務遂行に関する相談窓口として、当社社員およびその家族を対象に開設された。

1日　日鉄鋼板㈱が『ES(エバーサイディング)メタルスパン-R』を発売



住宅用金属壁商品「エバーサイディングシリーズ」の先駆けとして、金属壁需要の喚起を図る。

6日　日鉄商事㈱が行う第三者割当増資(優先株式)の引き受け
当社は、関連会社である日鉄商事㈱の財務体質の改善に伴い、同社が行う優先株式による第三者割当として50億円増資の引き受けを決定した。

6日　新日鉄化学㈱を完全子会社化
株式交換により新日鉄化学㈱を完全子会社とすることを決議し、株式交換覚書を締結した。

11日　広畑製鉄所がクリーン・ジャパン・センターから経済産業大臣賞を受賞
廃タイヤを製鉄の原料等として有効利用する技術により、「資源循環技術・システム表彰」の最高の賞である経済産業大臣賞を受賞した。

12日　「水素・燃料電池実証プロジェクト」のベース基地「JHFCパーク」が横浜市にオープン
同プロジェクトは経済産業省が実施する研究補助事業で、当社は自動車会社、エネルギー関連会社と共に参加し「液体水素製造技術開発」を担う。

15～16日　ニッテツスーパーフレーム工法、「やまがた住宅フェア2003」に出展
薄板営業部が「ニッテツスーパーフレーム工法」をPR。今回のフェアは、過去最高の3万人が来場し、大盛況となった。

24日　響灘風力発電　竣工式
当社が中心となり出資した㈱エヌエスウインドパワーひびき(北九州市)が平成14年10月以来建設工事を進めてきた響灘風力発電所が、西日本最大級の能力を持つ風力発電設備としてスタートを切った。

26日　財務部に「IRグループ」を設置
当社経営陣による機関投資家・アナリストなどへの対応業務を支援・推進することおよび当該業務の対外窓口明確化を目的に設置した。

31日　廃プラスチックに関するコークス炉活用の再生利用認定を取得
認定を受け、容器包装以外のプラスチックや産業廃棄物プラスチックについても、排出者からの要請に応じて広く再生利用が可能となり、資源循環の促進に大きく寄与することとなった。

31日　㈱関西鉄鋼センターと神鋼シャーレックス㈱統合の検討を開始
当社と㈱神戸製鋼所の提携推進項目である「鋼材加工分野での関係会社間連携強化」の一環。

3月　世の中の主な出来事

15日　新型の急性肺炎SARSが香港・ベトナムなどで猛威
17日　中国全人代で新主席に胡錦涛氏を選出
21日　米英軍イラク攻撃を開始、大規模空爆続ける
23日　『千と千尋の神隠し』がアカデミー賞長編アニメ賞受賞
28日　わが国初の情報収集衛星打ち上げに成功
31日　3月期末株価8000円割れ、21年ぶり低水準

04月

1日　本社と各所で入社式
137名の新入社員が入社した。

1日　会長・社長の選任および相談役の選任

代表取締役会長に千速晃氏、代表取締役社長に三村明夫氏、取締役相談役名誉会長に今井敬氏がそれぞれ選任された。

1日　新日鉄ソリューションズ㈱会長・社長の選任

代表取締役会長に棚橋康郎氏、代表取締役社長に鈴木繁氏がそれぞれ選任された。

1日　中期連結経営計画（2003～2005年度）を策定

製鉄事業をはじめ各事業の国際競争力と収益力を一層向上させ、強固な財務体質を早期に実現すると共に、需要家との一貫での競争力強化を図ることとした。

1日　秘書部と総務部の統合

本社企画管理部門組織のさらなる簡素化と、秘書、広報、総務、法規、庶務の各機能にまたがる業務の運営効率化を目的として、秘書部および総務部を統合し、新「総務部」となった。

1日　当社に東北大学大学院の連携講座を設置

東北大学大学院に開設された「環境科学研究科」の中で、教育と研究を担う連携講座が総合技術センター（富津）内に設置された。これは、民間企業として国立大学の運営に積極的に関与する国内初のケース。

1日　新日鉄ソリューションズ㈱社員が北大助教授として寄付講座担当

新日鉄ソリューションズ㈱システム研究開発センター畠山康博氏が、北海道大学大学院助教授として寄附講座を受け持つこととなった。国立大学では初の試み。

3日　中国で「新日鉄設備工程（上海）有限公司」を設立

プラント事業部が上海に駐在員を置いていたものを、保税区の貿易会社として現地法人化。需要が極めて旺盛な建材用の亜鉛メッキ製造設備やカラー鋼板製造設備をはじめとする製鉄プラント市場への対応力強化を主目的としている。

17日　ペール缶事業統合の準備開始

当社、㈱メタルワンおよびJFEコンテイナー㈱は、ペール缶事業を統合する方針を確認し、準備に入った。設備投資の集中化による商品開発力および品質対応力の強化を図ることを目的とするもの。

17日　直接溶融・資源化システム（シャフト炉式ガス化溶融炉）6施設を竣工

平成14年10・11・12月にそれぞれ竣工した施設と、4月に竣工式を行う3施設を加え、平成14年度に6件の施設が竣工した。これによりガス化溶融炉メーカーでは最多の19件を稼働させることになった。

多治見市三の倉センター
豊川宝飯衛生組合清掃工場
大分市佐野清掃センター
滝沢村清掃センター
習志野市芝圓清掃工場大分
高知幡多クリーンセンター

20～22日　釜石シーウェイブス選手が日本選抜メンバーに

池村章宏主将と三浦智拓選手がアジア4カ国対抗ラグビーの日本選抜メンバーとして、アラビアンガルフ戦とスリランカ戦で活躍した。

21日　広畑製鉄所、構造改革特区「環境・リサイクル経済特区」認定

兵庫県姫路市が「環境・リサイクル経済特区計画」の認定を受けたことに伴い、製鉄所事業用地（約600ha）が特別区域の対象として認定された。25日には、兵庫県の「ひょうごエコタウン構想」が国に承認された。これに伴い、当社も出資する関西タイヤリサイクル㈱を通じ、廃タイヤ等ガス化リサイクル事業に貢献していく。

22日　三村社長、技術開発本部（総合技術センター）と君津製鉄所を訪問

24日　平成15年度の発明改善社長賞決まる

発明改善により当社社業に顕著な貢献をした社員に、発明改善社長賞が授与された。

25日　新日鉄化学㈱との株式交換契約を締結

当社は、3月に子会社として決議された新日鉄化学㈱と株式交換契約を締結した。

30日　君津第二製鋼、真空脱ガス設備（2RH）が稼働

これにより君津の真空脱ガス設備は3基体制となり、脱ガス処理能力の大幅な向上と物流フローの効率化が図られ、需要家ニーズに応える高品質な鋼材の安定供給体制を確立した。

4月　世の中の主な出来事

1日　日本郵政公社発足
9日　米英軍バグダッド制圧、フセイン政権崩壊
14日　ヒトゲノム解読完了を日米英など6カ国首脳が宣言
20日　ドジャース野茂英雄投手が大リーグ100勝目を達成
30日　新型肺炎SARS感染拡大、世界で死者350人超える

05月

5日 堺ブレイザーズ黒鷲旗全日本選手権で準優勝

第52回黒鷲旗全日本バレーボール選手権大会で、堺ブレイザーズが準優勝した。

8日 君津、第4高炉に火入れ

今回の改修で内容積が5555㎥となり、世界最大となった。また、炉体の解体と設営を大分割で行う「大ブロック工法」を採用し、工期を大幅に短縮した。

9日 ㈱テトラが「テトラポッド」の立体商標を登録

同社の代表的商品「テトラポッド」(消波ブロック)の立体形状の商標登録が認められた。

12～13日 三村社長、九州支店と八幡製鉄所を訪問

14日 光・電縫鋼管工場小径管、PIC生産50万トン達成

小径管ミルで製造しているパイプインコイル(PIC)が、生産開始以来、累計生産量50万トンを達成した。

18日 皇太子殿下 (財)新日鉄文化財団主催公演にご臨席

皇太子殿下は、同財団およびテレビマンユニオン主催の「ヴィオラスペース2003」公演にご臨席された。自らもヴィオラを演奏される殿下は、終始熱心に聴き入られた。

19日 ㈱スピナが創業50周年を記念して『スピナ50年史 響き合う今日と明日』を発行

20日 韓国・ポスコからコークス乾式消火設備(CDQ)を二基同時受注

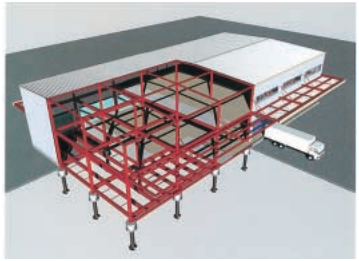
当社と日商岩井㈱は、韓国のポスコ建設と共同で、ポスコからCDQを二基同時受注した。

20日 当社平井富三郎社友(元代表取締役社長)ご逝去

7月4日、お別れの会が行われた。

23日 「スタンパッケージ／鉄骨高床式配送センター用」を発売

従来、鉄筋コンクリートでつくられてきた基礎梁を鉄骨化した新しい構造システムを開発、本格的な受注活動を開始した。



25日 鉄の彫刻家・青木野枝さん、当社コルテン鋼を使用して創作活動を展開

営業報『ニッポン・スチール・マンスリー』の表紙を飾った彫刻家の青木野枝さんが積極的創作活動を展開。写真は銀座のギャラリーに出品された作品。

出品作／立山(たてやま)

28日 Wacker-Chemieグループによるワッカー・エヌエスシー㈱の完全子会社化

29日 パイオニア㈱よりサプライヤー表彰

主にジンコート21などの電気めっき製品や高吸熱性鋼板などの塗装鋼板を納入しているパイオニア㈱から、総合的に貢献度の高いサプライヤーに贈られるサプライヤー表彰を受けた。

29日 日鉄海運㈱鉄鉱石・石炭輸送船「NSS FORTUNE」が竣工

30日 三村社長、名古屋製鉄所訪問

5月 世の中の主な出来事

17日 りそなグループに、公的資金約2兆円を注入

06月

2～5日　世界ガス会議・東京大会に出展

「世界ガス会議展示会―環境調和型未来をめざして」に、「天然ガス・新エネルギーを切り拓く新日鉄のキーテクノロジー」をテーマに出展した。

3～6日　三村社長、欧米で投資家向けに積極的IR活動を展開

ロンドン、ニューヨークを訪れ、海外機関投資家に、当社の戦略と今後の方向性についてプレゼンテーションを展開。鉄鋼再生の新たな時代の到来を強くアピールした。

10日　三村社長、大分製鉄所訪問

17日　「製鉄用コークス炉を活用した塩素を含むプラスチックの再資源化方法」で平成15年度全国発明表彰 発明賞を受賞

年々増え続け社会問題化している廃プラスチックを、製鉄用コークス炉を用いた「コークス炉化学原料化法」により、再資源化を実現。循環型社会構築に多大な貢献をしたことが評価されたもの。

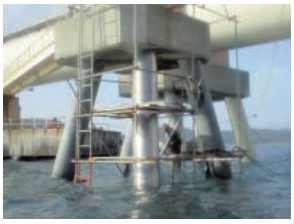
17日　日鉄化工機㈱の高効率排水処理システム『バンブーストリッパー』1号機が稼働

同機は旭硝子㈱千葉工場にて順調に稼働。本処理法の省エネ型の蒸留設備により、消費蒸気量は従来設備の十分の一程度で済むほか、有害物質を大気に放散せずに除去処理でき、有機塩化物などの有効成分も容易に回収できる。

18～19日　三村社長、釜石製鉄所と東北支店を訪問

19日　TP工法が電力会社向けに初採用

当社と日鉄防蝕㈱が共同開発したTP工法(チタンカバー方式のペトロラタムライニング工法)が、今年3月、電源開発㈱石川石炭火力発電所の海外炭受け入れ桟橋に用いられる既設鋼管杭の防食補修工事に採用された。



20日　住友金属工業㈱とのステンレス事業統合に関する分割計画書を作成、手続き開始

23日　「大容量水蓄熱システム」が経済産業省資源エネルギー庁長官賞を受賞

「晴海アイランド　トリトンスクエアにおける大容量水蓄熱システム」で、東京都市サービス㈱、㈱日建設計と共同で、「第5回電力負荷平準化機器・システム表彰」(財)ヒートポンプ・蓄熱センター主催)の「経済産業省資源エネルギー庁長官賞」を受賞した。

24日　サットインパイル工法(1柱1杭工法)の建築評定を取得、本格営業を開始

25日　特定規模電気事業者向け電力卸供給事業会社を設立

当社と新日本石油㈱・三菱商事㈱は、共同出資により「㈱フロンティアエネルギー新潟」を設立した。

30日　㈱ステンレス光のゴミ収納ボックス、販売が2万台を突破

光製鉄所のステンレスを使用した㈱ステンレス光のゴミ収納ボックス『ワンニャンカア』が、平成3年販売開始以来、販売累計数2万台を超えた。

30日　中央合同庁舎第7号館整備等事業(PFI)正式契約を締結

新日鉄グループ(28社)で設立したSPC・霞が関7号館PFI㈱が国と事業契約を締結した。

6月　世の中の主な出来事

7日　盧大統領が来日し日韓首脳会談。北朝鮮問題の「平和的解決」を

8日　テニス全仏オープン、女子ダブルスで杉山愛組が初V

27日　東証の日経平均終値9000円台を回復

07月

1日　ごみ焼却炉技術のクロスライセンスを実施

当社とHitz(日立造船㈱)は、ごみ焼却炉技術のクロスライセンスを実施した。

1～2日　三村社長、堺、広畑製鉄所訪問

1日　建築構造用高溶接・高性能60K鋼を開発

岡部ストラクト㈱の「露出型柱脚工法ベースパック用ベースプレート」に採用された。

1日　「台北国際金融センター」上棟

建築事業部が鉄骨工事を担当。地上101階(508メートル)の世界一の高さとなる超高層オフィスビルで、今年9月にグランドオープンの予定。

3日　鋼橋NET研究会、さらなるコスト削減の具体策を精力的に検討

7日　八幡硬式野球部、長い歴史に幕

都市対抗野球本大会に、過去37回出場し、おのおの2回の優勝と準優勝を果たした同部は、77年の歴史に幕を下ろした。

8日　二酸化炭素地中貯留圧入実証試験における圧入設備を納入

エネルギーエンジニアリング事業部は、(財)地球環境産業技術研究機構が実施する「二酸化炭素地中貯留技術研究開発」プロジェクトで、(財)エンジニアリング振興協会から日本初の二酸化炭素圧入実証試験設備を受注し、圧入を開始した。

8日　今井敬相談役名誉会長がオナラリー・コンパニオン勲章(豪州)受章

同勲章はオーストラリア政府が外国人に授与する勲章では最高位のもの。当社のトップとしてオーストラリア資源の輸出および投資の促進に貢献したこと、日豪経済委員会会長として両国間の経済交流発展に寄与したことが評価された。

10日　バンコク地下鉄鋼製地中連続壁プロジェクトチームが「第23回エンジニアリング功労者賞」を受賞

当社と東急建設㈱が、㈱熊谷組および㈱巴コーポレーションと共同で結成した同プロジェクトチームは、バンコク地下鉄プロジェクトのシーロム駅建設で採用された鋼製地中連続壁のエンジニアリング業務に関して、(財)エンジニアリング振興協会より「エンジニアリング功労者賞」を受賞した。

11日　米国鉄鋼学会(ISS)電気炉会議の「優秀論文賞」を受賞

世界初の光・双ドラム式ストリップキャスターの設備・操業・品質を紹介した論文が認められた。

14日　新日鉄住金ステンレス㈱の主要施策を発表

系列コイルセンターの集約などを発表した。

15日　キヤノン㈱御手洗社長、君津製鉄所と技術開発本部を視察

17日　三村社長、光製鉄所訪問

22日　当社と宝山鋼鉄が自動車用鋼板を製造・販売する合弁会社設立に関する基本合意

中国における自動車市場の発展に伴う高級自動車用鋼板需要に応えることが狙い。2005年5月の営業運転開始をめざす。

24日　新工法「MSカップリングケーソン工法」を開発

当社と㈱守谷商会で共同開発した「MSカップリングケーソン工法」が、長野県発注の赤坂橋P6橋脚工事に採用され、施工を完了した。

24～25日　三村社長、北海道支店と室蘭製鉄所を訪問

25日　中国・長江の止水壁として当社の鋼矢板工法が高い評価

中国政府により「長江鋼矢板工法補強事業」の完工祝典が開催され、日本側からは日本大使館、国際協力事業団等に加えて、施工技術指導を行った(社)日本鉄鋼連盟の代表会社として当社が招待された。

25日 新日鉄ソリューションズ㈱「オラクル パートナー オブ ザ イヤー」を受賞

この1年間に最も貢献したパートナーとして贈られた。

29～31日 広報センターが(財)経済広報センター主催の「教員民間企業研修」を受け入れ

君津製鉄所および技術開発本部にて、当社のモノづくりや技術力などを紹介した。

30日 『鉄鋼スラグ水和固化体技術マニュアル』を発刊

当社とJFEスチール㈱は、(独)港湾空港技術研究所および(財)沿岸開発技術研究センターと共同で、「鉄鋼スラグ水和固化体」を港湾工事用材料として適用する検討を行った。その実用化準備が整ったことから、これまでの成果をまとめた同マニュアルが発刊された。

7月 世の中の主な出来事

24日 北島康介選手、水泳世界選手権で世界新2冠
26日 宮城県北部で震度6の地震が3回、建物損壊5800棟

08月

1日 三村社長、東京製造所訪問

1日 広報センターが『新日鉄ガイド』をweb公開

広報センターが、公式データブック『新日鉄ガイド』(和文)と『Basic Facts about Nippon Steel』(英文)をweb化し、当社ホームページよりPDFにてダウンロードが可能となった。

2日 新日鉄グループオーケストラ初の演奏会開催

新日鉄グループの社員を中心に構成された「NSシンフォニーオーケストラ」の第1回定期演奏会が、紀尾井ホールで開催された。

7日 ㈱関西鉄鋼センターと神鋼シャーレックス㈱の合併に合意

21日 鈴木俊一環境大臣(当時)が㈱かずさクリーンシステムを視察

同社は日本初のPFI手法を用いた、当社も参画する民間主導の第3セクターによる廃棄物処理施設として注目を集めており、その先進事例として今回の視察が実施された。

21日 澤田副社長が技術開発本部でIR説明会

23日 第74回都市対抗野球大会開幕でかずさマジックと広畑が熱闘

8月23日～9月2日に行われた本大会で、かずさ市民球団マジックと広畑硬式野球部が出場。かずさマジックは、君津硬式野球部から広域チームとして再出発、4年連続7回目の出場となったが、惜しくも2回戦で敗れた。また広畑は5年ぶり27回目の出場を果たしたものの、念願の1回戦突破は果たせず、来年への雪辱を誓った。

かずさマジック

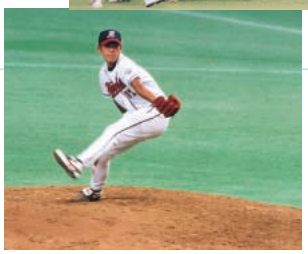
28日 戦略特許発明表彰で9名の社員に金賞授与

当社の競争力強化に貢献する戦略特許を発明した9名の社員に、平成15年度戦略特許発明金賞が授与された。

応援に駆けつけた名誉会長・会長・社長

28日 タンカー底板用「新耐孔食鋼」の開発

日本郵船㈱の新造VLCCに、当社が開発した世界初の耐孔食鋼板が採用されることに決まった。これは、孔食進行速度を従来鋼の5分の1程度に低減することができる。



広畑のエース桟原投手

8月 世の中の主な出来事

14日 米、カナダで大停電、5000万人に影響
18日 東証株価終値で約1年ぶりに1万円台回復
19日 イラク国連事務所で爆弾テロ、特別代表ら死亡
27日 冷夏の影響で、コメ10年ぶりの不作確実
29日 欧州酷暑、フランスで死者1万人を超す

09月

1日 「㈱日鉄神鋼シャーリング」発足

当社と㈱神戸製鋼所で検討してきた、関西地区での系列厚板溶断会社である㈱関西鉄鋼センターと神鋼シャーレックス㈱の事業統合について、両社の合併につき合意した。

2日 三村社長、新潟支店訪問

3日 名古屋製鉄所でコークス炉ガスホルダー爆発事故発生

3基のガスホルダーが使用不能、高炉が休風し、下工程も一時操業停止となったが、17日より高炉2基稼働を再開。全社をあげて復旧への取り組みが行われた。

5日 コバルト系FT合成触媒の開発・実用化にめど

当社は石油公団および民間会社4社と共に、天然ガス液体燃料化技術実用化研究に参加し、非貴金属系FT合成触媒の開発を担当。当社が開発したコバルト系FT合成触媒を用いて、北海道苫小牧市勇払のパイロットプラントで最大生産能力のGTL油連続日産量7バーレルを達成した。

10日 環境・水ソリューション事業部環境修復推進部が「2003土壌・地下水浄化技術展」に出展

10日 釜石製鉄所が記念誌『北の鉄人』を発刊

釜石製鉄所は、新日鉄釜石ラグビー部の足跡を記録した記念誌『北の鉄人』を限定300部で発刊した。41年間の記録や写真、証言を織り交ぜて紹介している。

11日 『環境報告書2003』発行

従来の「環境」に「社会性」の報告を加え、報告書全体を「環境マネジメント」「環境報告」「社会性報告」の3部構成となった。

11～14日 『スーパーダイマ』『新意匠鋼板』を中国で初出展

「2003浙江国際高層建築産業博覧会浙江国際鋼結鋼展」(中国・杭州)に、『スーパーダイマ』を中心に出展した。

19日 ㈳日本鉄鋼連盟が「環境税」に関する見解を発表

25日 ぶりき商品に関する特許侵害訴訟控訴棄却

当社は、当社の溶接缶用ぶりき商品「キャンライト」が日本鋼管㈱(現JFEスチール㈱)の保有する特許の「表面処理鋼板」を侵害するとして、昨年4月に同社から50億円の損害賠償を請求する特許権侵害訴訟が東京地方裁判所に提起されたが、第一審で同社の請求は棄却の判決が出た。同社はこれを控訴していたが、一審と同様、同社の請求を棄却する内容の判決が言渡された。これにより、当社主張の正当性が認められた。

26日 プラント事業部と北京首鋼設計院が「北京中日連節能環保工程技術有限公司」を合弁で設立

中国で需要が拡大しているコークス乾式消火設備市場に対し、当社の先進的な技術と北京首鋼設計院の中国製鉄設備市場での豊富な知識や経験を活用し、構成設備の中国国産化を進め、対応力を強化することを主目的として設立された。

30日 鋼製地中連続壁工法が「第5回国土技術開発賞」受賞

当社とハザマ、清水建設㈱、㈱大林組、鹿島建設㈱、東急建設㈱の6社が、薄壁型で省スペース・省力施工の都市環境保全型地中連続壁工法である「鋼製地中連続壁工法」の開発に関して受賞したもの。

9月 世の中の主な出来事

9日 全国高齢者、100歳以上が初めて2万人突破
15日 阪神、18年ぶりセ・リーグ優勝
22日 小泉第2次改造内閣がスタート
24日 民主・自由両党が合併、新、民主党が旗揚げ

10月

1日 新日鉄住金ステンレス㈱発足

当社と住友金属工業㈱のステンレス事業統合により、日本最大のステンレス専門会社として「新日鉄住金ステンレス㈱」が発足した。従業員1300名、年間生産量110万トン、売上規模1900億円、「ステンレスで社会に貢献する」を合言葉に積極的事業展開をめざす。

NSSC

1日 釜石シーウェイブスのオリジナルビールを限定発売

岩手県内約300の各小売店で7万2000缶の限定販売を開始した。パッケージはチームカラーの青をベースに、アンドリュー・マコーミック選手を大胆にデザイン。鉄の町・釜石の歴史を考慮しスチール缶とした。

1日 ㈱新日鉄都市開発の企業広告が「ACCシルバー賞」を受賞

同社は、企業広告「土地の難題に答えるウルトラソリューション」のラジオCM「春はあけぼの」編で、ACCCMフェスティバルラジオ部門「シルバー賞」を受賞した。

3日

「堺臨海地域」の事業計画、都市計画の提案

都市再生緊急整備地域の第一次指定を受けている堺製鉄所の遊休地について、商業アミューズメント事業計画の提案を行うとともに、堺市に対してこれに関連する都市計画の提案を行った。

6日

当社が世界で初めて開発した「コークス炉化学原料化法による廃プラスチックリサイクル使用技術」が、米国の学術協会AIME"Robert Earll McConnell Award"を受賞

「平成15年度全国発明表彰発明賞」に続く快挙となる。

7日

サハリンⅡ　フェイズ2開発計画、タンカーローディングユニットを受注

エンジニアリング事業本部鉄構海洋事業部は、子会社であるエヌエスネフテガスストロイ㈱と共に、サハリンエナジーインベストメントカンパニーより、サハリンⅡフェイズ2開発計画のうち、タンカーローディングユニットの設計・製作・輸送・据付工事一式を受注した。

8日

大分製鉄所で累計出銑量2億トンを達成

第1・2高炉共に累計1億トンを達成。特に2高炉は単独高炉で世界最速を記録した。

10日

釜石製鉄所で全天候バースが竣工

2千トン級の船による出荷と大型コンテナの取り扱いが可能で、釜石港の利用率向上につながり、地域経済活性化に大きく寄与することとなった。

10日

日経広告賞受賞

第52回日経広告賞優秀賞に、当社企業広告「新日鉄の廃プラスチック再資源化プロジェクト」が受賞。㈱新日鉄都市開発の企業広告「土地の難題に答えるウルトラソリューション」も、日経広告賞「建設・不動産部門優秀賞」を受賞した。

賞状

日経広告賞

第52回日経広告賞

日本経済新聞社

10日

大分製鉄所で2高炉改修の鍖入れ式

今年2月から改修工事に入り、2月下旬吹き止め、5月中旬火入れを予定。

11日

皇太子、皇太子妃両殿下がコンサートにご臨席

両殿下は、紀尾井ホールで開催されたオーストラリア国立室内合奏団の演奏会にご臨席になり、ピアソラ、ヘンデル、ドヴォルザークなどの作品をご鑑賞された。

17日

世界初の60キロ級・80キロ級TRIP型合金化溶融亜鉛めっき鋼板(GA-TRIP)の実用化

加工性、衝突エネルギー吸収特性に優れており、同日発表されたホンダ新型オデッセイに採用された。

18日

新開発「スタンオフィスe」の販売を開始

事務所を中心とする非住宅S造の小型建築物の市場で求められている「段のコストダウンに対応し、日成ビルド工業㈱と共同で開発に取り組み製品化した。全国組織であるSB会(スタンビルディング会)のネットワークを活用し、販売を展開する。

20日

釜石シーウェイブス池村主将が日本選抜出場

釜石シーウェイブスの池村章宏主将が、「アジア4カ国対抗」Aグループ日本選抜に選ばれ、福岡県で行われた香港代表戦に出場し大活躍した。

20日

全国社会人サッカー選手権釜石が出場

釜石は2回戦に進出し健闘したが惜敗した。

21日

三村社長、大分製鉄所訪問

23日

スチール缶リサイクル協会が30周年記念講演回を開催

設立30周年を迎えた同協会は、「環境と容器の明日を考える」と題した講演会と懇親会を開催。官庁、飲料・食品メーカー、市民団体、学界など来賓と鉄鋼・製缶メーカー、商社など150名が出席した。

27日

「廃プラスチック循環資源化の開発と普及(コークス炉による廃プラスチックの有効活用技術)」で第13回日経地球環境技術賞環境技術賞を受賞

同技術は、昨年「グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)」、「ウェステック大賞(環境大臣賞)」に続く受賞となった。

27日

学習絵本第3巻『鉄から生まれる"新・モノ語り"』発刊

28日

イスパット・グループとの北米における提携強化

当社と、米国イスパット・インランド社およびその親会社のオランダ、イスパット・インターナショナル社は、米国の合弁事業アイエヌ・テック社、アイエヌ・コート社を核として、北米における自動車メーカーを中心としたユーザー対応をさらに強化すべく、より緊密な提携関係を構築することで合意した。

28日 北海道におけるニッテツスーパーフレーム工法用形鋼製造を開始

北海鋼機㈱内に製造設備を新設の上、ニッテツスーパーフレーム工法用形鋼、薄板軽量形鋼部材の委託製造を行うこととして、営業運転を開始した。

30日 三村社長、広畑製鉄所訪問

30日 「お寺のチタン屋根」がグッドデザイン賞を受賞

当社と数寄屋研究所心傳庵・木下孝一棟梁、光悦寺・山下智昭住職で共同出品した「お寺のチタン屋根」が、㈶日本産業デザイン振興会主催の2003年度「グッドデザイン賞」を受賞した。

数寄屋研究所心傳庵・木下孝一棟梁

10月 世の中の主な出来事

1日 日銀短観で景気「底離れ」が鮮明に
7日 米加州知事に俳優シュワルツェネッガー氏当選
15日 中国有人宇宙船「神舟5号」打ち上げに成功
27日 王ダイエー日本一、阪神星野監督勇退
28日 総選挙が公示され、選挙戦が始まる

11月

6日 第11回「地球環境経済人サミット」で、関沢常務がパネリストに

関沢常務が、同サミットの「温暖化対策と企業経営」で講演。「鉄鋼産業の温暖化対策への自主的取り組み」「新日鉄の環境・エネルギーソリューション事業の積極的展開」「環境税への見解」などについて説明を行った。

7日 三村社長、名古屋製鉄所訪問

7日 中間決算と今年度業績見通しに関するIR説明会を開催

約170名のアナリスト・機関投資家を対象に開催、活発な質疑応答が行われた。

10日 ブリキ営業部がメルマガ創刊

社員を対象に、スチール缶に関する情報送信を開始した。

10日 ㈱かずさクリーンシステムが「日経優秀先端事業所賞」を受賞

同賞は、ネットワーク社会の進展や地球環境の保全などの実現、人間・社会・地域との調和と活性化を進めている事業所に贈られる。同社は、「企業と自治体が協力して環境に取り組む先端的な活動」として評価された。

12日 三村社長、八幡製鉄所訪問

18日 三村社長、技術開発本部(総合技術センター)および君津製鉄所訪問

19日 東北電力釜石営業所のショーウィンドウに釜石シーウェイブスのコーナーを新設

24日 かずさマジック、第30回記念社会人野球日本選手権大会に出場

2年連続4回目の出場を果たしたかずさマジックは、1回戦で大阪ガスと対戦し、2-1で惜敗した。

28日 日仏フォーラムで千速会長スピーチ

日仏フォーラムで千速会長が「日仏鉄鋼メーカーが共同で取り組む高級自動車鋼板のグローバル供給体制」についてスピーチを行った。

11月 世の中の主な出来事

7日 長嶋ジャパン、アテネ五輪の出場権を得る
9日 総選挙で自民伸びず、民主躍進
16日 横綱・武蔵丸が引退
29日 イラク北部で日本人外交官2人が殺害される

12月

11～13日 「エコプロダクツ2003」に「スチール缶」と「お寺のチタン屋根」出展

リサイクル率が高く何度でも使われ環境負荷の低い「スチール缶」と、軽くて強くしかも耐食性に優れ、神社仏閣の屋根材としても活用されている「チタン」の2つを展示した。

12月 世の中の主な出来事

1日 足利銀行一時国有化決定
9日 自衛隊イラク派遣基本計画を閣議決定